

会議等名	平成 28 年度 第 3 回海老名市子ども・子育て会議
日 時	平成 28 年 12 月 20 日 (火) 10:00~11:30
場 所	海老名市役所 6 階 全員協議会室
出席者	<p>委 員：鍛冶 邦彦 委員長、鷲野 昭久 副委員長、久保 由美 委員、鍵渡 香代子 委員、小島 良之 委員、櫻井 慶一郎 委員、山田 由美子 委員、木村 伸之 委員、吉川 昌宏 委員、増田 芳夫 委員、亀澤 ますみ 委員、田島 紀子 委員、渡部 理子 委員、村田 愛 委員</p> <p>(欠席：熊澤 紀千代 委員)</p> <p>事務局：保健福祉部次長（福祉担当）兼福祉事務所長 渋谷 明美、参事兼保育・幼稚園担当課長 萩原 小百合、子育て支援課長 告原 幸治、子育て支援係長 奥田 ともみ、子育て支援係主査 尾内 速斗、主任主事 千田 裕美子、保育・幼稚園係長 安齊 浩史、保育・幼稚園係主事 片山 考人、学び支援課長 小林 誠</p> <p>傍聴者：1 名</p>
1 開 会	
2 委嘱状交付（吉川委員）	<p>・ 海老名市 P T A 連絡協議会の改選に伴い、「吉村 まい 委員」に変わり「吉川 昌宏 委員」が任命された。</p>
3 議 題	
【審議事項】	
(1) 平成 29 年度における特定教育・保育施設の定員設定について	
① 審議内容	<p>平成 29 年度に予定している特定教育・保育施設の新設に伴う利用定員設定について審議事項とした。現時点の特定教育・保育施設の設置状況と定員設定について説明をしたうえで、新設予定の 3 園の詳細と定員数について別紙資料に基づき事務局から説明した。</p>
② 質疑応答	<p>特になし</p>
③ 審議結果	

平成 29 年度における特定教育・保育施設の定員設定の内容について了承を得られた。

【報告事項】

(2) 海老名市ファミリー・サポート・センター援助活動報奨金支給 手続要領の制定について

① 報告内容

海老名市ファミリー・サポート・センター事業について、援助会員の活動促進及び会員増を図るため、新たに海老名市ファミリー・サポート・センター援助活動報奨金支給手続要領を制定したことから、その取組内容と現在までの実績等について別紙資料に基づき事務局から報告した。

② 質疑応答

- ・ 制度内容について各幼稚園・保育園への周知はしているか。(委員)
→ 現在、特に行っていない。
- ・ 報奨金制度とすることで、実績としてどれぐらいの増加を見込んでいるか。(委員長)
→ 実施前実績の 1.2 倍程度の増加を見込んでいるが、開始後 2 か月間の状況としては、まだ大きな変化はみられない。今後更なる制度周知が必要であると考えている。(事務局)

(3) HUG HUG えびな宣言について

① 報告内容

子育て世帯を積極的に応援し、子育て世帯の定住を促すことを目的に平成 28 年 11 月 1 日に施行された HUG HUG えびな宣言について、宣言内容と実施事業、また、同日に開設した子育てサイト・アプリ「HUG HUG えびな」の詳細をプロジェクターによるスライド資料に基づき事務局から報告した。

② 質疑応答

- ・ 子育てサイト・アプリ「HUG HUG えびな」の目的は、情報発信なのか？ママたちが交流できる掲示板のようなものがあると便利だが作ることを考えているか。(委員)
→ 「HUG HUG えびな」のそもそもの目的は、行政の子育て関連の情報を市民に分かりやすい形で発信すること。サイトの掲示板については、面白

いとは思いますが、行政として不適切な内容が掲載されてしまう危険性があること、サイトの管理人等を設置することなどを考慮すると実施は難しいと考える。(事務局)

- 現在の「HUG HUG えびな」のダウンロード数はどれくらいか。(委員)
 - アプリのダウンロード数は約 500(1 カ月半)。サイトのページビュー (アクセス) 数は約 5,500 (1 カ月)。そのうち 7 割がスマートフォンからのアクセスとなっており、スマートフォンから見やすいサイト作りを心掛けていきたい。(事務局)
- 宣言を行い、待機児童に取り組む姿勢は評価したい。ただし、保育施設の増加に伴い、保育に携わる職員も増加することになるが、「保育の質」が保たれるかが心配。研修体制の強化が必要である。また、保育施設に入所前の児童に対する施策も充実させていくべき。(委員)
- 子育てサイト・アプリ等、行政の制度について、知らない人が多いと思う。制度の周知徹底を図ることが重要である (委員)
- 「HUG HUG えびな」のリーフレットは、子どもが幼稚園からもらったので知っていた。他にはどのような場所に配布したか。(委員)
 - 庁内では、出生届・転入届の手続きの際に配布している他、ビナスポ・ビナレッジなどの公共施設、子育て世帯が多く集まる大型商業施設に配布している。
 - また、サイトは出生直後から入園前の児童を含む未就学児に関する子育て情報をメインに掲載している。このため、市内の保育園・幼稚園にも配布した。(事務局)
- 例えば産婦人科等に配架すれば、市外の利用者もいることから、海老名に住みたいと考える人たちもいるのではないか。(委員)
 - 参考にしたい。(事務局)
- 未就学児の情報がメインとのことだが、小学校入学の際に学童保育の情報も必要であると考え。(委員)
 - 学童保育に関する情報も掲載されている。よりわかりやすく充実した内容を心掛けていきたい。(事務局)
- 宣言とは直接関係ないかと思うが、リニューアルした中央図書館について、

親しみやすさを増したが、専門性は薄れたように感じる。また、小学校の図書室の蔵書も少ないため、中央図書館の専門性が薄れた代わりに小学校の図書室の蔵書数を増やすとか利用の住み分けができると良いのではないか。

(委員)

→ 小中学校の図書室も大きく変えようとしている。指定管理者制度を導入している有馬図書館から各学校へ司書を派遣したり、蔵書の充実のため予算の増額も行ったりしているところである。

全ての方に満足するような図書館にできればいいが、海老名では、中央図書館と有馬図書館があり、その二つで機能分担を果たしていければと考える。(事務局)

(4) 子ども・子育て支援事業計画の実績報告について (様式変更)

① 報告内容

子ども・子育て支援事業計画の実績報告書について、次回(28年度実績報告書)から基本施策ごとに子ども・子育て会議のコメント欄を追加し、審議結果を掲載する方針についての報告と、次回の審議の進め方について資料を基に事務局から説明した。

② 質疑応答

特になし

※ 新年度開催予定の次回の審議については、事務局でコメントの原型を示し、これに対し審議のうえ加筆・訂正したものを最終的な子ども・子育て会議コメントとして掲載することで合意した。

(5) その他 (自由意見)

- ・ 子育て支援課で開催した「子育て講座(NP)」に参加した。子育ての悩みをサポートするために、欧米で開発された子育て支援プログラムで、子どもとの関わり方を練習し体験的に学ぶことができる内容だった。とても素晴らしい講座なので今後も続けてほしい。(委員)
- ・ 消防署で開催された小児、乳児、新生児に対する普通救命講習に参加した。小さい子どもを持つ親にとって大切な講習であると感じたが、参加者が25名定員中8名の参加しかおらず、そのうち6名は保育関係の職員だったかと思う。講習の周知が徹底していないように感じた。(委員)

- 子育て中の親にとって、子どもを預けてからでないイベントに参加できないことが高いハードルとなっている。例えば、短い時間で構わないので「すくすく」など子育て支援センターのサロンで、普通救命講習などの子育てに関する講座を開催することはできないか。(委員)
 - 普通救命講習については、所管が違うため詳細については回答できないが、担当課に情報提供したい。
 - また、子育て支援センターでは赤ちゃんに関連する各種講座を実施している。今回は意見として伺いたい。
 - 周知を図るためのツールとして「広報えびな」がまず挙げられるが、多くの部署が利用するため制約も多い。子育て関連の情報については、「HUG HUG えびな」を有効活用していきたい。(事務局)

- 子育てサイト・アプリ「HUG HUG えびな」の今後の展開はどのように考えているか。
 - サイトをスタートするにあたり、まずは未就学児を対象にした。また、現時点で掲載しているものはすべて行政情報となっている。今後利用者からは、もっと多くの情報を掲載してほしいとの声が寄せられることが予想できるが、取り入れられるものは順次掲載していきたい。
 - また、サイトの更新がされないと登録者に飽きられてしまうことから、更新もしっかり進めていきたい。PUSH 通知（お知らせ通知）機能についても活用していくことも考えているが、イベント情報等流していく情報については、通知が多くても嫌がる登録者もいることから、しっかり精査し進めていきたい。
 - なお、これは健康づくり課が運営しているサイトだが、子どもの年齢を登録することで検診と予防接種のスケジュールを自動作成する「ちっくんナビ」というサービスもあり「HUG HUG えびな」からもリンクを貼って簡単にアクセスできるようになっている。
 - (事務局)

- 市民からの声を聞いて改善して行ってほしい。(委員長)
- イベント周知に「HUG HUG えびな」を使えば、イベント参加者もサイト登録者も増えると思う。Web 関連の仕事をしているが、子どもの医療に関するイベントについてはとても反応がいいように感じる。まず、「HUG HUG えびな」にそういったイベント情報を多く掲載していくべき。(委員)

- 子どものアレルギー対策について市の考え方を聞きたい。例えばHUG HUG えびな宣言の説明資料の中に、子どもの防災グッズの配布で非常食が入っている写真があった。その非常食にアレルギーを持っている子どももいることから、そうした配慮はあるのか。(委員)
- 危機管理課にて防災グッズを配布しているが、アレルギー対策への特段の考慮はないかと思う。担当課に情報提供したい。(事務局)

4 閉 会

今回は計画の進行管理として、実績報告に対するコメントを取りまとめた。先程の議題にあったように、事務局でコメントの原型を作成し、事前に皆様へ送付したうえで会議を開催したいと考えており、来年5月頃の開催を予定している。(事務局)

以 上